

ビジターセンターの展示

伊勢志摩国立公園には、伝統的な里山と里海の景観が保存されています：里山・里海は何世紀にもわたって人間の活動が持続可能かつ生産的な方法で自然に溶け込んできた森林および海岸地域です。横山ビジターセンターでは、このような繋がりを4面スクリーンシアターなどの直感的な体感型の展示で紹介しています。

壁面に設置された常設展示パネルは、伊勢志摩国立公園についての主要なトピックをカバーしています。パネルのひとつでは、宮域林と呼ばれる伊勢神宮を取り囲む神聖な森から入り組んだリアス海岸とモザイクを織りなす島々にいたるまで、国立公園の地理が解説されています。別のパネルには、公園内に生息する動植物についての情報が書かれています。3枚目のパネルは、マウンテン・トレッキングや焼いた魚介類を食べながら海女さんから伝統的な生活様式の話聞く機会などのアクティビティを紹介しています。ホールの中央にある「シマ」にも、他のトピックの展示があります。

館内には売店、休憩スペース、そして小さな資料コーナーがあります。時々開催されるクラフト体験やVR体験についての詳細はインフォメーションカウンターで案内しています。

シアタールーム

シアタールームでは、伊勢志摩国立公園の自然環境についてより体感的に学ぶことができます。壁3面と床面に動画が映し出され、国立公園内のさまざまな場所が再現されます。海女さんたちが藻場の岩面でアワビやナマコを採る様子を追ったり、備長炭を作る職人がウバメガシを伐り出して焼いている様子を見たりと、さまざまな体験が楽しめます。

床のアイコンの上に立つ、あるいは壁のアイコンに触れると、周囲に映るこの地域に生息する動植物の映像についての解説を選択した言語で視聴できます。これにより、来館者は里山や里海の生態系に仮想的に足を踏み入れ、人々が伊勢志摩国立公園の資源をどのように活用し、持続的に管理しているかを見ることができます。